





原爆が日本にあたえた影響

参考書

太平洋戰爭勃發

一九四一年十二月一日未明、日本はマレー半島上陸作戦、ハワイの真珠湾への攻撃を実行し、ギリス・アメリカとの太平洋戦争が開戦しました。また、日本は中国全土とも支配しようとしており、ここでもアメリカやイギリスを敵にまわしてしまったのでした。日本の戦い方は奇襲といつて相手の隙を突くやり方でした。だから、はじめの真珠湾攻撃は成功しました。が、翌年の4月、本土に空襲されてしまします。そして、ミッドウェー島海戦での大敗北が続き、かけで形勢が逆転し、防戦一方へたたかれ、広げただけ広いた戦線を守る、とてもできず、海外領土ばかり本戻國防場になる日が迫っていました。日本は「総合的国防圏」を定めて、ワイпан島など大部隊を送り、下の島の敗北し、アメリカを中心とする連合軍との戦力の差はますます拡大しました。そして、日本が占領していたテニアン島・グアム島も陥落し、日本本土に次々と爆撃が加えられました。

第二次世界大戦中、極艱困の原子爆弾開発に焦点アメリカ、イギリス、カナダは原子爆弾開発・製造のために、科学者、技術者を総動員するマソハツタン計画を実行しました。計画は成功し、原子爆弾が製造され、一九四五年七月十六日世界初の原爆実験が実施されました。そして、科学部門のリーダーにはオーベンハイマーがあたりました。また、大規模な計画を効率よく運営するため、管理工学が使用されました。

「マンハッタン計画」という名前は、当初の本部がニューヨーク・マンハッタンに置かれていたため、一般に軍の名前をつけるやり方にならず、「マンハッタン・プロジェクト」となりました。最初は、「代用物質開発研究所」と命名されていましたが、これを知った後にプロジェクトを引

## 原爆投下の背景

原爆が壊したもの



前11時十五分世界最初の  
た。0、三秒で表面温度  
た。立ち上り原爆とは  
エネルギーが「熱線」  
しているのです。  
「熱線・爆風」では、  
近くにいた人や建物な  
どのほぼ全てがのめり  
ました。  
そして、人への影響  
を及ぼすやけどは五段  
階に分かれます。まず  
一段階目は赤くはれま  
す。二段階目はところ  
ところり表面組織が破  
壊され白っぽく固まり  
ます。三段階目は全体  
に赤みり、全身火白、  
ほくびります。四段階  
自体水ぶくれ成塊れは  
じめ、最終段階では空

廣島研修を終えて

ぼくは、今まで戦争というものを身近に感じたことがありませんでした。しかし、この研修を終えて戦争の恐怖感を、肌で感じることがでました。そして、広島に行き、ぼくはこの日本の戦争はただ人々を苦しめただけではないと考えるようになりました。

年、日本が一回も戦争をしていないことを、もしも、あの戦争で日本が勝利していたらどうなつて、いたのでしようか。きっとアメリカやイギリスに勝利したことを自信にして、もつとたくさんの人々が戦争をしていたかもしません。日本が戦争をしてこなかつたのは就身の教訓であつたからではと考えらえます。まことに、また、北朝鮮の様なサイルを世界が批判しているのです。もし、あの戦争で核兵器が作られずに済んでいいなら、たら、核兵器のことが認知されずであります。恐ろしさや怖さを知らず、北朝鮮が世界名地、さまざまなものに犯して、日本だけひなく、最悪の場合、世界が崩れへつたのもそれません。

日本は第二次世界大戦以降、戦争と少し距離をとつてきました。しかし、安保法案や緊りつけ警護など少しすつ戦争に近づいてくるような気がします。僕は今、このようなどきに、戦争の記憶がある日本人全員が共有する必要があると心ります。日本人全員が、されば、再び戦争が勃発することはないはずだ。日本の戦争が多くの遺産としてではなくこれからも未来を思う遠藤ひかり続ります。

本状態になります。このようた分のれでいました。  
また、放射線は守アン爆弾の約十五分を占  
めていました。そして、核分裂と同時に広島の地  
上で放出されていました。人間が放射線を浴び  
ると、全身の奥深くまで入り、細胞が破壊され  
てしましました。そして、絆創膏、脱毛、下剤、粘  
血、歯ぐきからの出血、血液を送る機能の低下な  
どたくさんの体の変異がみられました。  
このよう、原子弹はただ一瞬で全てのもの  
を殺すだけではなく、生き残った人々をも死命に襲  
ふついたのです。

▲ 広島研修を終えて

ぼくは、今まで戦争というものを身近に感じた  
ことがありませんでした。しかし、この研修を終  
えて、戦争の恐怖、恐怖を、肌で感じることができ  
ました。そして、広島に行つて、ぼくはこの日本の  
戦争はただ人々を苦しめただけではないと考え  
るようになりました。

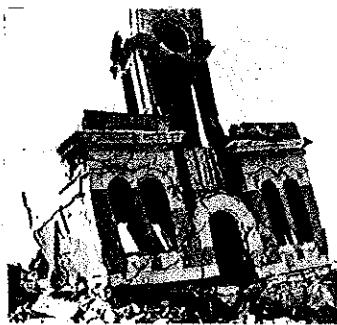
まず、一番よくがとう感じたのは、戦後約七年、日本が一回も戦争をしていないことです。も  
しも、あの戦争で日本が勝利していたらどうな  
っていたのでしょうか。きっとアメリカやイギリス  
に勝利したことを自信にして、もうとたくさん人の  
戦争をしていたかもしれません。日本が戦争をし  
てこなかつたのは戦争の教訓があるからではと  
考えうたるひではないでしょうか。

また、北朝鮮の核ミサイルを世界が批判してい  
るもので、もし、あの戦争で核兵器が作られず、  
使われていなかつたら、核兵器のことが認知され  
ておらず、恐ろしさや怖さを知らず、北朝鮮が世  
界名地、さまざまなものに差別して、日本だけ  
ひなく、最悪の場合、世界が崩れついたかもしれ  
ません。

日本は第二次世界大戦以降、戦争と少し距離を  
とつてきました。しかし、安保法案や駆けつけ警  
護など少しずつ戦争に近づいてくるような気分にし  
ます。僕は、このようなときに、戦争の記憶を  
日本人全員が共有する必要があると心にします。日  
本人全員がいれば、再び戦争が勃発することはない  
はずだのです。日本の戦争が多くの遺産として、では  
なくこれからも未来を思う遠慮ひかり続ることと  
思ひます。

原爆がもたらした恐怖

A black and white illustration depicting a large, multi-story building, possibly a church or cathedral, that has suffered significant structural damage. The front facade is partially collapsed, with large sections of the wall and roof missing, revealing the interior. Debris and rubble are scattered in front of the building. The surrounding area appears to be a city street, though no other buildings are clearly visible. The style is reminiscent of a historical newspaper illustration or a woodcut.



熱線による被害

爆心と同時に爆燃点の温度は百万度を超え、空中に爆生した火球は、一秒後には最大直径二百八十メートルの大きさとなつた。この火球から四方に放出された熱線は、爆発後百分の一秒から約三秒間、地上に強い影響を与えた。爆心地周辺の地面の表面の温度は鉄の溶ける温度の二、三倍の三千度にも達した。強烈な熱線によって焼かれた人々は重度の火傷を負い、多くの人が亡くなつた。火傷は熱線に直接面した部分にだけ生じており、爆心地から三・五キロメートル離れたところでも、素肌の部分は火傷を負つた。

白爆心地からの距離と被害

六百メートル以内：屋根瓦は、表面が溶けて引つぶつの泡状になつた。

約一・八～二キロメートル：人の着ていた衣服や洗濯物に着火。

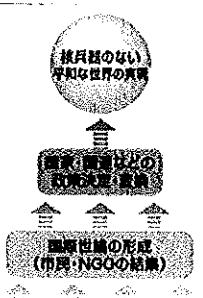
約二・五キロメートル：やら屋根に着火し、炎上。黒焦げになつた。

## 放射線による被害

放射線の影響が大きい体の場所  
・ 細胞が活発に分れつしている部分  
　(骨髓、腸のなんまく、生殖器など)  
放射線を全身に七千ミリシーベルト以上を一度  
にうけると、ほぼ全員が死亡する。  
放射線は、被爆直後の急性障害(熱熱、ほき  
け、下痢など)だけではなく、その後も長期に  
わたってさまざまな障害を引き起こし、被爆者の  
健康を現在もなお脅かし続けている。  
被爆後の障害  
・ 一九四六年(昭和二十一年)初めころ  
火傷が治ったあとが盛り上がる、いわゆるケ  
ロイド症状が現れる。  
・ 一九五〇年(昭和二十五年)ころ  
白血病患者が増加する。

原爆の特徴は、通常の爆弾では発生しない大量の放射線が放出され、それによりて人体に深刻な障害が及ぼされたことだ。放射線は細胞を破壊し、人体の奥まで入る。放射線による障害には、爆心地からの距離や大きさによる物の有無によつて、その程度が大きく異なる。爆発後一分以内に放射された初期放射線によって、爆心地から約一キロメートル以内にいた人は、致命的な影響を受け、その多くは数日いうちに死した。また、外傷が全くなく無傷だと思われた人々が、被爆後月日が経過してから発病し、死をした例も多くある。さうに原爆は爆発後、長時間にわたりて人体に強く影響を及ぼす残留放射線へ核分裂で生まれた放射性物質や分裂しながら、ウランから出る放射線と、初期放射線を受けたことにより、土やがれきを構成する原子の原子核が反応を起しして生まれた放射性物質が放出される。このため肉親や同僚などを捜して、または救護活動のために被爆後に入市した人々の中には、直接被爆した人ひとくまに「爆発により巻き上げられた粉じんなど」を含んだ黒い雨が、広島市とその周辺の地域など、の広い範囲で降った。この雨の中には強い放射性物質が含まれており、この地域で井戸水を飲んでおり、その後後

・一九五五年（昭和三十一年）ころ  
甲状腺ガン、乳ガン、肺ガンなどの悪性腫瘍  
の発生率が高くなり始める。  
放射線が年月を経て引き起二す影響については  
まだ十分に解明されておらず、調査や研究が現  
在も続けられてゐる。



#### 平和を願う市民の強い意志

## 戦艦・大和の秘密

八 戰艦 大和 の 建造

## 大和の技術

「大和」は、アメリカの軍艦に對し、日本が口實で抵抗しようとした艦であり、当時の最新技術の集大成と言えるものでした。その技術は戦後日本の復興と高度成長を支え現代にも受け継がれています。

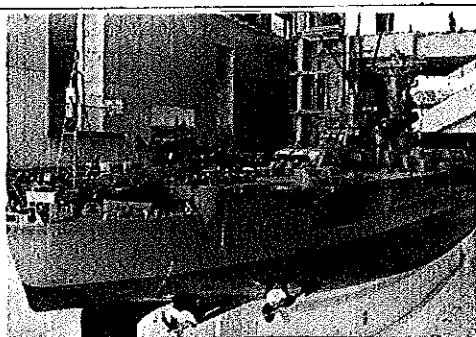
船首の水線下に球状の突起をつけることでは、速力二十七ノットへ時速五十キロで、8%以上の浪がつくる抵抗を減らすことができました。現在も、世界の大船タンカーから漁船に至るまで幅広く利用されています。

精密光学機器

「弱電技術」

目標までの距離を測る「十五メートル測距儀」は、世界一の大きさと機能をもつていましました。こうした技術は、戦後、力メラなどの精密光学機器に大きな影響をあたえ、日本の光学機器産業を世界有数のものに育て上げました。

「大和」は士官室と一部の兵員室冷暖房が使用されており、夏でも27度くらいに気温が保たれ、「大和ホテル」とも言われていまし



大和の最期

昭和二十一一九四五年四月五日、戦艦「大和」は沖縄海上特攻の命令が下ります。接護する航空機もない、「大和」と4隻の駆逐艦など、第二艦隊約七千二百名は、アメリカ軍が上陸した沖縄へと向かいます。

そして、昭和二十一（一九四五）年四月六日、沖縄に向け、徳山と出航した。大和以下、第二艦隊は翌7日、九州南西沖の海上において、アメリカ海軍空母機多數の攻撃を受けました。大和は戦艦の末、多数の魚雷、爆弾の命中により、十四時二十三分に沈没しました。乗組員三千三百三十二名うち生存者は二百七十六名。五十六名の尊い命が失われました。

田進歩のない者は決して勝たない。負けて目を  
大根に現在も、水深三百五メートルの  
海底に眠っています。

めることが最上の道だ。日本は進歩をいうことを軽じて過ぎた。私的な潔癖や徳義にこだわって、眞の進歩を忘れていた。敗れで目覚めろ、それ以外にどうして日本が救われるか今日覚めずしていいつ教われるが。俺たちはその先導にならねりだ。日本の新生にさきかけて散る。まさに本望じゃないか。四

（乗組員の手紙）

旦、ご両親様、お元気でお暮らしの事でしようね。  
私も元気で母港に入港いたしました。いよいよ十  
九日に出港し、〇〇へ入港することとなり、今度  
はいつ母港に帰ることができるかわかりません。  
二度も電報を打って誠にすりませんが、今度  
は無事に帰れるかどうかわかりませんので、一筆  
は書くべきです。

軍人、一度戦争に出たなら、命はないものと同じです。私も死んだ後にご迷惑をかけるとのないよう、身辺整理はしておきましたから、私の死の知らせが届いた時はどうか悲しまず、氣をたしかに持て、私の遺骨を持て置いてください。これが私の願ひです。ではさよなら。  
この遺書は、戦艦「大和」に海軍一等兵曹、一番主砲塔員として乗組、沖縄海上特攻に参加し、戦死した名村利雄さんが両親に向けて書いたものです。その当時、名村さんは22歳でした。

へ広島研修を終えて、  
（後は、二日間の広島研修を終えて、あら

戦争は、とおいわのと、いうことがわかりました。  
大和ミユージアムに行つて、戦艦大和の大きさ、  
強さ、技術のすごさがよくわかりました。その戦  
艦大和がしかるべきくらいなので、よほでは  
げいじやうひだ、たんだなどといふことかよくわかりま  
した。

一日目の昼ご飯だ、た弁当を食べて、戦争のと  
きは、こんなにも少ない量でがまんしなければな  
りますが、たとへうこてが寒感しました。毎日毎日  
こんな弁当だ。たら、僕はライナにな、ていたと  
思います。

この三日間で、知らないことを知れたり、知つ  
ていたことも、よくわかれたりと、本当にいい  
体験をしたと思いました。この先、戦争を絶対にい  
やりたくないという気持ちが、も、と深くなりま  
した。秋艦大和の乗組員だ、た海軍一等兵曹の名  
村利雄さんの手紙を見て、自分が死ぬと分か  
るのに戦争に行かなくてはならないといふのが  
すくかわいえうだし、自分が、たら絶対にイ  
ヤ

佐々木禎子さんが銅像

木彌子さん

佐々木娘さんは広島市に住んでい志原爆の被爆者少女で、広島平和記念公園にある原爆の像のモデルになつてゐます。娘さんは、運動神経が良く将来の夢は「中学校の体育の先生」にほろこひだつたそうですが、

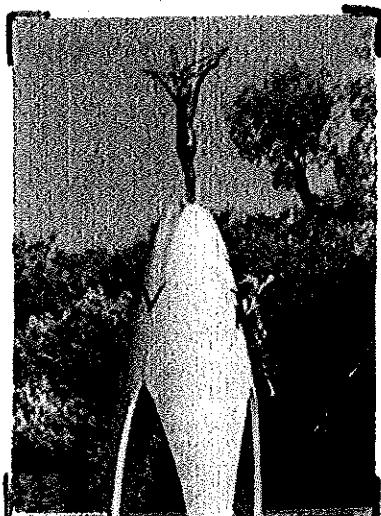
一九四五（昭和20年）  
一人の少女が七くなりました。被爆から10年後  
でした。そのころ広島には活気が戻ってきていました。  
た、被爆の傷はまだ色濃く残っていました。当時、アメリカとソ連は競って核実験を繰り返し日本でも雨から自然被射線至上回る放射線  
が見つかっていました。  
人々は核兵器に無関心ではいられなかつたそ  
んな時代のことでした。

一九五四年（昭和29年）  
八月の検査では異常はナシカリモんでいた。  
六年生の秋の運動会では今一ムを一位に導く活  
潑をしていました。その記念日は一九五四年十  
月二十五日横子さんの命日とちょうど一年前でした。  
しかし・

七月、スヰカさんと呼んでいた古瀬の娘の子供たちが、お嬢さんと一緒に白い着物で七夕飾りをして、スヰカさんと娘の娘には娘さんのお足に出でいた娘が出ていました。『うわもああして死ねんじやろ?』と同室の患者さんと一緒に別れに行ひ、お嬢さんはかうりと言葉をもらしました。

一ヶ月五八八人に多き屋の高級料金の割合を算として折り鶴が送られ、折り鶴をもたらす。娘子さんだけではなく多くの入院患者が折り始め病院では折り紙で千羽鶴を折れば元気になると信じて鶴を折り継ぎました。折り紙は生きる希望にならむことをしめた。八月下旬に下宿は千羽を終えました。九月時、同室に入院していく人が「もと千羽折る」と言ふ事を聞いたのです。当所折り紙は高級料金の折り紙ではよく豪の日本折り紙がよく見えて、千羽を折り紙用紙で折る、千羽折るものが多かった。高級の回復はどちらもせんべいでした。

一九五四年、昭和三十一年  
一十月頃に首の用ひにタクリードをはじめ  
一九五五年一月にはシコリが計り承と京都の事  
所々に顔が腫れ始め直院が調べてみせられ  
原因は分からず、二月に不さい病院で検査した  
ら「白血病」とある。これが判明し、長くても  
一年の角と診断され京都医系で治療へ現在の  
疾患は十度、原爆病院にて療養生活を「核の  
さん」が入院して身を咎めり精神未満となり、原  
爆症」と聞かざる所難の皆は同じ丸が集  
き出す所もいた。竹組の友達は彼子さんの支  
えにわればと友代で意見箱に書き下して、彼  
子さんが心労をしてほしくないけれど、嘔気の  
事は余して知りせむりと申しおう。



## 原爆の子の像

約八ヶ月の入院生活でした。  
娘子さんの布施の平庸の術りは、底層の原爆  
も爆破して人を亡にし、今は平和の術りのシタ  
ボルとして美化してしまいました。

アトールの平和公園にも銅像があり奉る。  
二〇〇四年七月二十日  
國立在島民衆の復興、平和祈念館に追贈  
登録されました。

十月二十日

重病状態。家族が病室に集まりました。片岡さんご様子さんにおかずを食べようと勧めると「お茶漬けが食べたい」と言い急いで買つて一さじ口にいれ、あと一杯は二杯とも言ひ残して二口目を食べると既ちそのうに息を引き取りました。

## 復興へのひかり

「戦争」や「原爆」について考えたことがありませんか。私は今まで考へたことがありませんが、今はせんざんでした。八月になると特集が組まれ多くのメディアで報道されているけれども感じていませんでしたが、私には関係のないことだと決めていました。しかし、今回実際に行って見て聞いて聞いて、関係ないことで済ましではいけない。同じ日本で起ったことの分だと考え直しました。その時に興味を持ったのが広島の復興でした。それがので原爆投下後に広島に辿った歴史について調べてみました。

## ヒロシマに起きた真実

一九四五年八月六日（月曜日）一時十五分

その瞬間から起きたのが分かりますか。世界で初めて原子爆弾へリトルボーイ

ウラン三三五キログラムとされたでの瞬間です。月曜日でよく晴れていたこともあります。音もが新しく気持ちで暖まりはじめたその瞬間です。島病院上空約六〇メートルで爆発し、強烈な熱線と超高压な爆風とともに火被射線一匹四方へ放射されました。当時約三五万人の人々がいた広島市は一九四五年十二月末までに約十四万人、約四〇パーセントの人が死んでしまったのです。市内の建物の九〇パーセント以上は破壊され焼失しました。台所仕事をしながら使っていた家などの火が燃え移り午前十時頃から午後二、三時頃まで燃え続けたそうです。

爆心地の爆発時の温度は三〇〇〇度と四〇〇〇度にまで達しました。猛烈な熱線による重慶の火事で、多くの人々が亡くなりました。爆心地は、松原三・五キロメートル離れたところでも毒煙は吹き飛ばされたり、火傷したそうです。暴風により吹き飛ばされた人たちは即死したり、負傷したり、倒壊した建物から落とした人が下敷きになり圧死した人が相次ぎました。ですが、原爆の恐ろしいところは放射能が降るところで、とたと思ひます。身体にとても深刻な後障害がもたらされるからです。致命的な影響を受け、その後のうちに死んだ人もたくさんいたそうです。また、直接放射能を浴びていなくとも母親の体内にいた胎児も大きな影響を受けていた。胎児も大きくなり、死んでしまった。

復興への道

玄島のすごいところは「龍興」であると私は考へています。あの日、原爆が落ちてからここまで成長した理由を考えてみました。今、市の花になくなっている「大竹桃」は原爆投下後じ五六年草木が死んでしまったといふと、言われていたのにも関わらずこの花が、玄島らしい人との勇氣をもつて復興を目指したことが、由来となつていてるそうです。他に「アオギリの四木」というものがあります。死んだ方に思われた木が生き返ったことで多くの人が希望を持ったのです。また、玄島の人たちは木は原爆特異とのために他地域から贈られたもので、四種類以上一二〇〇本が現在も玄島で見られるそうです。さらに、今回見学した「広島平和記念館」にもたくさんの意味があります。例えば「記念館」は「ア式」という足のある構造になつていて、これは「広島に立ち上がってほしい」という願いがこもつてゐるのです。他にも原爆ドームと平和の塔と広島国際会議場を直線で結ぶと三角形になるという、島の工夫の一つです。

私も広島の人の大将さ  
うな「東洋ヒロシマ力」  
に「ア」も広島に元気に  
のな? てもらおうとつく  
れられた市民球団なので  
す。たくさんの方々  
の業り越えた後ろ側には  
たくさんのことがある

なんだと思ひました。また、朝鮮戦争で核兵器が使われ、そうになつたときに峰三吉さんが詩を書いて反対した。それが多くの人が立ち上がり、反対したそうです。今では世界の多くの国が核を持たず、核軍縮しようとしています。しかし、それでもまだアメリカ・ロシアのようだ。大国たる S.T.A.R.T. 交渉するなど、国際社会は少しも北朝鮮が核実験を行いました。アメリアとロシアは踏査核実験を行い、一九九八年五月には、インドとパキスタンが二〇〇六年に北朝鮮が核実験を行いました。

### 感想

研修に行く前は、正直「なんて行かなければいけないのだろう」と思っていました。しかし、島に行って気持ちが大きく変わりました。まず一番驚いたのが広島の街です。原爆ドームを見たのはなんとも思えなかったのです。原爆ドームに実際に行って屋根が壊けて骨組みだけになってしまったのを見ると、よくあの状態からここまで成長したのです。とすごく感動しました。また、広島の人びとが朝鮮戦争で核を使われたのに反対したり、いう話を聞きすごく尊敬しました。そして、広島や長崎を見て核を使つてはならないと分かったのはお身のにせます。おも保持するのか、とても考えられません。

「ヒヨシマーナカサキ」そして、「フクシマ」日本との地名でカタカナで表記することもある都市では、生で放射能により汚染されたことのある都市です。これ以上カタカナで表記する都市を増やしてはならないと思つて、まさか。そのためにも、今まで守つてきました終戦と何十年、毎年と教えられるよう人に全ての人が出来ることから少しづつでもおこなわなければなりません。また、日本だけではなく世界へ平和を誓信したいです。そして、私たちの子孫へ平和の大切さを伝えるためにも生きて「私はたちが平和について学び、考え、理解をしなければならないと強く考えさせられました。

平和を願う  
Wish for  
peace

ヘ 日本と対戦した国々はミ

平和な世界へ

八鹿島人の原爆投下

第二次世界大戦（太平洋戦争）末期の一九四五年（昭和二十一年）八月六日午前八時十五分、アメリカ軍が日本の広島市に対して世界で初めて核兵器を実践使用しました。これにより当時の広島市の人口35万人（推定）のうち9万（16万6千人）が被爆され、2ヶ月以内に死亡したとされています。建物は原爆の強烈な爆風と熱線で、爆心地から二キロメートル以内の建物をほとんどすべて破壊し、焼き尽くしました。二キロメートルを超える地域でも、木造の建物は大破以上の被害を受けた。当時の広島市内の建物の大割れは、戦災によるものでした。一九四六年（昭和二十一）年一月市勢観察によると、被爆前の建物七万六千三百二十七件のうち、原爆により五万七千八百八十件が全壊し、一部損傷以下との建物は六千八百八十件にすぎませんでした。

人體に刻まれたもの

原子弹爆弾による放射線は、被爆直後の急性障害（発熱、吐気、下痢など）だけでなく、その後も長期に亘り、さまざまな障害を引き起こす。被爆者の健康を現在もなおお脅かし続けています。一九五五年（昭和三十年）初めごろから「火傷外治」たあとが盛り上がりゆくケロイド症状が現れました。また胎内被爆児は出生後も死亡率が高く、死を免れても小頭症などの症状が現れることがあります。さらに被爆後5～6年が経過した一九五〇年（昭和二十五年）ごろから白血病が増加し、五年後増加率は甲状腺腫瘍（乳がん）、肺が二位の悪性腫瘍の発生率が高くなり始めました。放射線が年月を経て引き起こす影響には、未だ十分に解明されておりず、調査や研究が現在も続けています。



一戰爭に上る代價

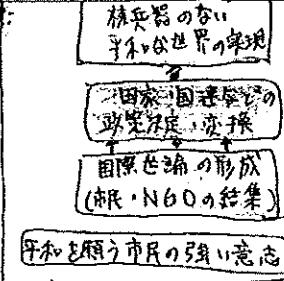
原爆は、人や物に大きな被害を与えただけではなく、人々の社会生活そのものを破壊しました。その徹底的な破壊力は、族族から親兄弟や親戚、友人などを奪い、あらゆる施設はもろん、さまざまな社会的機能をも一瞬にして消滅させました。

左の写真は、広島の平和公園にある、嶋三吉詩碑です。私はそれを見て、もし自分の大切な人達がいなくなつたと想ふと、とても辛い気持ちになりました。戦争は、身体に傷をつけるだけではなく、心にも傷をつけます。そして悲しみや憎しみを生み出します。そんなことは起きてはいけない、誰もそんなことは望むまい。

誰しもが、平和を望み、願っていふ、と思つてります。私ももちろんそこのうちの一人です。

一人一人が、国と國と外手を取り合い、平和な世界になることを望みます。

感相心



核兵器の廢絶は、それを他の國家にだけ求める  
がてりるものではありません。國家の爲めに  
國家の政策を軍縮に導いていくには、一人一人の  
市民が平和を願い、核兵器のない社会を実現しよ  
うとする強い意志を持ち、世界中の人々と連帯を  
強め、国際世論を盛り上げることが必要です。  
近年、軍縮や環境保護などの分野でN.G.O.(非  
政府組織)が大々的に活動を果たしています。彼ら  
は核兵器反対の國際世論を高めるため、オランダ、  
ハーバーの国際司法裁判所に「核兵器は国際法に違反  
している兵器」であることを認めさせた運動を  
政府組織し始めたことを果たしてしまった。彼ら  
は活動外国家や国連を動かし、  
核兵器をなくす力になるの  
ではないでしょうか。

原爆投下のその後：

人木田空キノコ實シロツブ  
昭和二十年八月六日、本島在原子爆弾が投下され、異物もちえり口蓋が破裂しました。左耳には、原爆投下直後、長崎吉浦の施設で実験部の爆心地は左耳裏耳につけて記した西田重夫海軍技術大尉手記の一節です。

それは、淡いベージュ色の帶が在る者で、やがて本色  
で、朝日を反射してたくましく輝く姿。立ち、内  
からあくびをするようにギンコ状に広がり、驚く  
ほど高密度で葉尖に突き上がりつつある。

この一筋を読んで、ものすごい速さで空高く飛んでしまった。二つめのキノコ雲は驚愕地かられて七キロメートルのところまで飛んだようだ。

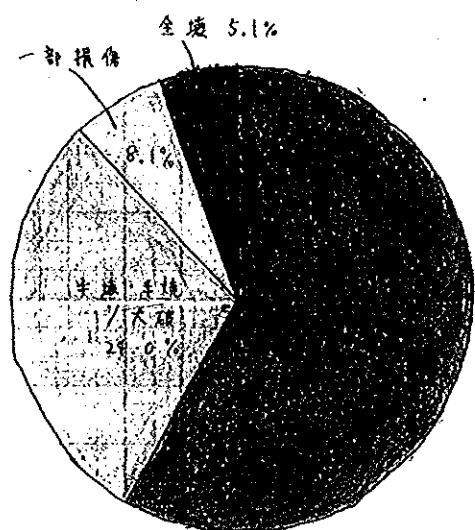
原子爆弾投下直後、「ち早く呉鎮守府から顔真島に派遣され、同時に初めて原子爆弾であることを知つてきました。

一方で呉鎮守府は、呉海兵団や呉海軍飛行隊など組織した救援隊、救援隊を派遣しました。

また多くの呉市民も広島市に入り、救援・救援活動をしました。

そして、八月九日に原爆に原子爆弾投下された日本は八月十五日、ホーリダム宣言を無条件で受け入れ、昭和二十七年からはじまる大戦争に幕をかけました。

八月六日「おおむねアリ」  
旅館二ヶ月は、大正四年に鹿児島の物産品の販  
賣促進を図る趣意とすることを目的として始てたが、  
从、「鹿児島県物産陳列館」という名前でしたが、  
その後、「鹿児島県立農業陳列館」、「鹿児島県農業  
試験館」と改称されまし、千人達蔵家ヤン・  
・レツルが設計した大體空ヨ一ロツバ園の建物は  
鹿島の名所となり、シンボルともなりました。こ  
の建物は、県の物産品の展示・販売を行なは  
美術展や博覧会など各種催し鳥の会場としで親し  
められました。しかし、昨年が激しくなった智知十



## 思想にまつわるの探求

九年三月には商業獎勵館としての業務が廃止され、その後は内務省中臣、田園土木監理課や鹿島農業所とし使用されていました。  
原爆の炸裂による熱波と爆風によつて、建物は大破、全焼し、中にいた人々は全員亡くなりました。しかし、原爆によっては一部残りました。それは、爆風をほぼ真上から受けたため、側面の壁に壁が、建物の屋頂上、垂直方向から力圧で倒す了子耐力が強か、大部分の一部は残りました。実物を見て、「一部残して」ということは、つい奇跡的とも思いました。

八度、車両修理工場で平和記念公園に向かって行ったとき、原爆が落とされてから七十一年、今では戸島も家やビルが焼け立並び、たくさんの車が行き来して、私たちは同じように暮らしてきました。あの家の人が生き残らなければ焼け跡が「人が住むらぬるにない」のです。さぞかし心配だなあと思ったのです。一日目の昼食にしてしからん年當」が出来ました。この日は本当に煮たお年當を再現したものでした。中身は少しの切り干し大根と小魚、それに大豆でかえ増ししたごはんでした。とても質素なごはんで、毎日これがかけでお腹いゝぱい食ひらねばいいのがめりてうでした。

私は戦争をしておりることは少なくとあらためて思いました。戦争はたくさんの人を殺し、たくさんの人の人生を傷つけ、たくさんの人々の未来をつぶすものだと感じます。そんな悲しいことをしたくありません。戦争をすることも、核兵器を作ることも、私たち人間がすることです。だから、戦争を止めることもできることも思ります。いつも、車両修理工場で平和記念公園に向かって走ります。



卷五 - 6

# 原爆について

## △広島に投下された原爆

△なぜ広島に原爆が？

一九四五年八月六日、午前八時十五分に広島に原爆が投下されました。原爆は、爆心地の島病院の上空約六百メートルの地点で爆発し、活気ある広島の街を一瞬にして破壊しました。これにより、多くの人々の命が奪われ、七十一年たった今でも、原爆による後遺症で多くの人々が苦しんでいます。



## △原爆による被害

原爆投下前の広島の町を皆さんは知っていますか。そこは、劇場やカフェ、料理屋など一百二十軒あまり立ち並ぶ広島一の繁華街だったそうです。しかし、とり活気あふれる街並みは原爆によって、丸ごと破壊されてしまいまして。その理由は、原爆が市街地のほぼ中央上空で爆発したことです。爆心地から二キロメートルの範囲内に市内の全建物の約八十五パーセントが倒壊され、建物の九十パーセント以上が破壊されました。

私は、平和記念資料館の資料や、原爆ドームを目の当たりにし、原爆がもたらした壮絶な被害に対する言葉を失いました。たまたま一つの原爆が一瞬にたくさんの市民が傷ついており、軍需工場が近くにあります。だからこそ、この二つの都市の他にも、当初は、東京・名古屋・大阪などといつたが、大都市も原爆投下の候補に選ばれていきましたが、かくして、原爆投下の最終候補は、京都はあせられました。こうして、原爆投下の最終候補地は、広島・小倉・長崎の三つに決まりました。しかし、小倉に原爆が投下されるはずだったたまり、小倉の上空は、分厚い雲がおおておらず、視界が遮られたため、起きる長崎へと変不かれました。しかし、小倉に原爆が投下されるのは、たまたま三つ

いためです。それは、黒い雨などを浴びて、原爆症を発症してしまったのです。黒い雨とは、原爆の爆心で三十分後に降った、それよりとおり黒色の雨のことです。広島に投下された原爆には、核分裂物質とし、ウランは三五トントマニ（太）よりも、小柄であることをからです。たことからです。

## △広島研修をおえて……

建物への被害はすさまじいものでした。しかし、人々への被害は建物への被害をはるかに超えました。悲惨なものでした。私は、この研修を通じ、戦争のない平和な世界では、今もなお戦争が続いている国は、それがどの程度幸せなものかを強く感じました。それと同時に、戦争から復興した平和で豊かな今の中から程幸せなもののかを強く感じました。私は、この研修を通じ、戦争のない平和な世界では、今もなお戦争が続いている国は、それがどの程度幸せなものかを強く感じました。それは、たまたま十代の若者なりだというこども身をもつ感じました。世界では、今もなお戦争が続いている国は、たまたま十代の若者なりだといつても、世界が平和であることが大切さを感じ、一日でも早く戦争がなくなること、これから先、日本のように、原爆による壮絶な被害に遭う国がないことを強く願います。そして、私は

卷之二

広島に起きた悲劇

時十五分。世界で初めて本島に原爆が投下された。原爆は地上六百メートルで爆発しました。その一秒钟の大爆の大きさは直径二百八十九メートルまで広がりました。街はほとんど破壊され、多くの人々の生命が奪われました。人々はうずくまき生を残して死んでしまいました。体に大きな痛手を受け、多くの被爆者が今もなお苦しんでいます。

原 子 爆 弹 に よ る 被 害

射線による障害は、爆心地からその距離やさえざる  
物の有無によつて、その程度が大きく異なる、とい  
ふべきです。爆発後一月以内に  
放射された初期放  
射線によって、爆  
心地から約一キロ  
メートル以内にはい  
た人は、致命的な  
影響を受け、その  
多くは数日から

卷之三

二のような被害をもたらした原爆は、リトルホーイーと呼ばれます。この原爆は、核分裂物質としてウラニウム二三五が使われ、これを臨界量より少なう二つの塊に分け置いておき、爆薬を使つて塊をぶつけ合わせる二つにより、一瞬のうちに臨界量以上になると同時に起きました。

臨界量以上に達すると、「百分の一秒」という極めて短い時間に核分裂連鎖反応が起ります。膨大なエネルギーが一度に放出されます。爆発の瞬間、強烈な熱線と放射線が放出されるとともに、周囲の空気が急激に膨張し、強

原爆の爆発の瞬間、爆発点は數十万気圧といふ超高压となり、同の空氣が急激に膨張してものすごく強烈な爆風となりました。爆心地から半径二キロメートル以内までの地域では、ほとんどの木造家屋は倒壊し、鉄筋コンクリート造の建物は、崩壊を免れても場合でも窓枠や内部の家具類も吹き飛ばされ、内部はすげて焼失するなど、木造が被害を出しました。爆風により、人々は吹き飛ばされ、即死した人、負傷した人、倒壊した建物の下敷きになってしまった人が相次ぎました。その強烈な爆風により、爆心地である、壁の厚さが一メートルもあるなどされる島病院も、原爆の破壊力にはひととおりもなく、わずかに玄関周りの円形窓と円柱だけが残ってます。

弘文館修志終元次

幸せだと改めて感じました。  
「当たり前」のことを当たり前今は本当に  
ですから、トランジタルが「日本も核兵器を  
持つべきだ」といふと言つてります。かくされ  
は許してはいけない発言であり、なんとして  
でも核兵器を持たないすることは止めるべき  
です。約七十年前、核兵器である原子弹爆弾を  
使って広島に起きた市の悲劇を我々若者も深  
くして忘れてはならないと思います。  
また世界には今もない戦争や内戦が続い  
ています。国があります。關係ない人、何も悪く  
ないのに巻き込まれ、多くの犠牲者が出てい  
るかもしれませんので、これから先、一日でも  
早く、一人でもそういう人が減るように。  
そして、笑顔になれて幸せだと見えろ毎日が  
当たり前として繰りでいくよう、私たち十  
代の若者がこれから日本をつくり、動かし  
支えていかなければならぬにやまなのだと思  
ります。

私は衣島研修に行き、戦争はなくさんの人とかを苦しめ、日本だけ悲しいものかを知る二戦争とは無縁な世界で生きてきた何も知らない私がリヨリヨなことを学べて平和につりて深く考えることができたいい二日間になれたと思ひます。

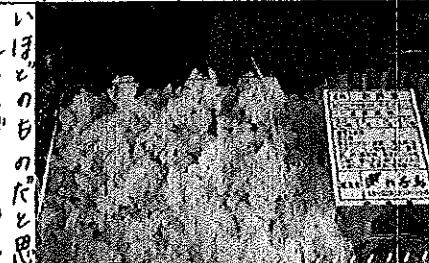
陸上自衛隊服や陸上自衛隊の皮膚、家族へ書いた遠書などを自分の目で見て、読んで

無差別に命を奪う原爆

原爆が投下された日 昭和二十一年八月六日午前八時十五分。広島に原爆が投下されました。アメリカは六日まことに何度も広島上空に空襲を現し、攻撃をせず帰らなかったことをくり返していました。その日も、広島の人々は「ああ、またか」と思っていましたが、どうか。けれど、その日、本当に原爆が投下されたのです。地上六百㍍で爆発し、一秒後直徑二百八十㍍で落下したとき不思議な現象が起きました。爆風・熱線の三大威力により、人々は一瞬にして命を奪われました。体はかきこぼされ、ガラスの破片が体にさり、物もくしゃみます。大傷により皮膚がズルリとむけ、体液が乾燥してツボボリ、動けなくなります。町中が大火事になります。瓦礫が飛び散り、人が死体でうずくまっています。川には放射能が大量に含まれていました。地中により、人々は次々と死んで、川は死体でうずくまっています。川に飛び込む人も、空から降る黒い雨を口をあけて飲みました。これらが被爆者約三十五万人のうち、約三十万人が亡くなりました。奇跡的に生き残った人も、放射能による後遺症に苦しめ、一生消えうることない、忘れることのない記憶に、今も苦しい思いをしています。

平和記念資料館

をのしけるちゃんと弁当は、実際に平和記念資料館に展示されていました。そして、現代の人も食べやすいやうな味付けにさかにしげるちゃんと弁当を食べることができできました。私たちと同じ中学生があり弁当の量が抜羨して、いることはとても大変だと思いました。当時は、まことに栄養とともにとべてきない中、一人一人が懸命に生きて、食に感謝してたりだとあらためて感じました。



八月  
入廣島研修至終元了